

気持ちをほぐし、仲間と楽しめる学びの「場」を ニットティータイム

日本編物検定協会としての活動を番町市民活動センターで始め、仲間と編物を楽しめる場として『ニットティータイム』を立ち上げて10年あまりが経ちました。

名前の通り、お茶を飲みながら、語り合い、編物を楽しむことを広げていく活動をしています。



2024年6月からは、マフ『あいちゃん』お届け隊として、筒状のニット製品を、高齢者施設や児童、障害者施設などに届けています。

みんなから愛されるという意味で名付けられた『あいちゃん』は、手袋の代わりになる防寒具として、筒状に編んだものの中に手を通して使います。

このマフは柔らかい編み目を触ることで、不安を和らげ、カラフルなデザインに視覚が刺激され、心が落ち着く効果があります。

ちくちくしない毛糸を選び、材質や編み目、サイズを統一し、ボランティアさんたちと協力して制作しています。



伊藤さん談
「マフ『あいちゃん』は、静岡ではニットティータイムだけが取り組んでいる活動です。今後、ワークショップも計画し、「あいちゃん」の活動を広めたいと思っています。」

編み物を通して社会貢献
しかも、自分も癒される！
坂本

